

みなさん、こんにちは。今年の夏は本当に暑い夏で9月に入ってから30度を超える毎日が続いていましたがみなさんいかがでしたでしょうか。10月を迎えましたがようやく朝晩、秋めいてきた実感がいたします。

さて、秋の訪れとともに本県財政、元々、阪神淡路大震災からの復旧復興に要する借金・地方債の残高が他の県にはない8,500億円という巨額を抱えておりますので厳しい財政運営を強いられるわけですが、本年度も大きな歳入欠陥が生じてしまいました。それは、県税におきまして法人関係税、自動車取得税などが伸び悩みまして、当初予算額に対して350億円もの減収が見込まれますし、地方債の発行等につきまして中々協議が整いません。また、歳出面では医療費や介護保険負担金等の福祉関係費や退職手当などの増加が見込まれまして、全体として620億円の収支不足となっております。

このために歳入面で減収補填債の発行、そして税込確保努力、それに行革努力を行っての地方債の確保に500億円ほど努めますが、歳出面も100億円ほどの節減を目指しまして、不急の事業を取りやめたり、あるいは投資的経費につきましては県担事業の執行留保、施設整備の繰り延べなどを行うことに致しました。

このような厳しい財政状況下でありますが一方で本格的な少子高齢社会や人口減少社会の到来を見据えた元気な兵庫作りを着実に進めていかなくてはなりません。その様な意味で行財政構造を改革していくこと、持続可能なものにしていくことが不可欠ですので、現在ゼロベースで事務事業を聖域なきに点検をいたしております。10月中には叩き台をまとめて県民の皆さんにお計りしようと考えております。その様な意味で、ご協力とご指導をお願いしたいと存じます。それでは。

発行元：いどとし.net 運営事務局

発行責任者：渡邊 勝幸

お問い合わせ：ido@idotoshi.net